



## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年11月12日

上場会社名 株式会社 三城ホールディングス

上場取引所 東

コード番号 7455 URL <http://www.paris-miki.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 多根 裕詞

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 中塚 哲郎 TEL 03-5781-6032

四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日 配当支払開始予定日 平成26年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	28,232	△3.9	920	△18.0	1,067	△15.3	534	△38.1
26年3月期第2四半期	29,374	0.8	1,122	16.1	1,260	18.5	863	190.8

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 583百万円 (△53.9%) 26年3月期第2四半期 1,264百万円 (282.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	10.39	—
26年3月期第2四半期	16.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	53,198	40,124	74.8	773.11
26年3月期	53,788	40,003	73.8	770.91

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 39,802百万円 26年3月期 39,689百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
27年3月期	—	9.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	57,258	0.6	1,140	41.1	1,122	8.4	509	21.6	9.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 — (社名) —、除外 — 社 (社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期2Q	56,057,474株	26年3月期	56,057,474株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	4,573,371株	26年3月期	4,573,043株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期2Q	51,484,170株	26年3月期2Q	51,485,092株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、発表日現在で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料2ページ「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における国内の経済状況は、消費税率引上げ後の反動減から持ち直しの動きがみられるものの、足踏み状態ではないかという状況が続いています。

こうした中、小売業界におきましても底堅く推移はしていますが、悪天候の影響などもあり明らかな回復とまでは言えない状況です。

当社グループにおきましても、単価は徐々に回復しつつあり、お客様に付加価値を実感していただける当社独自の機能性商品の提案、そしてサービスの向上に引続き取り組んでおり、徐々に成果につなげてきております。

主要子会社であります(株)三城におきましては、消費税率引上げ後の反動減の影響が続いている感があり、また不採算店舗の退店を進めていることもあって、売上高は前年を下回る結果となりました。販売費及び一般管理費につきましては、退店による削減、また広告宣伝費や販売促進費を精査したことで減少してはいるものの、営業利益は前年同期を下回る結果となっております。

海外子会社におきましては、東南アジアの法人が政治的な情勢や景気回復の厳しい地域もあり、以前ほどの利益確保が難しくなっておりますが確実に利益は出しております。中国法人におきましては、景気状況などによる懸念材料は残っておりますが厳しい状況は回復しつつあります。また、店舗整理を進めておりますオーストラリア法人の不採算額が減少していることなどあるものの、海外法人合計で利益を出すのは難しい結果となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間におきましては、売上高28,232百万円（前年同期比3.9%減）、営業利益920百万円（前年同期比18.0%減）、経常利益1,067百万円（前年同期比15.3%減）、四半期純利益534百万円（前年同期比38.1%減）となりました。

報告セグメント情報の状況は、次の通りであります。

#### 1) 日本

国内の売上高は24,534百万円（前年同期比4.6%減）、セグメント利益958百万円（前年同期比14.8%減）となりました。

#### 2) 海外

海外の売上高は3,882百万円（前年同期比0.9%増）、セグメント損失35百万円（前年同四半期はセグメント損失0.9百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

（資産、負債および純資産の状況）

総資産は前連結会計年度末に比べ589百万円減少して53,198百万円となりました。これは主に現金及び預金が250百万円、流動資産におけるその他が324百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が917百万円減少したことによるものです。

負債は前連結会計年度末に比べ710百万円減少して13,074百万円となりました。これは主に流動負債におけるその他が823百万円減少したことによるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べ120百万円増加して40,124百万円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金が164百万円増加したことによるものです。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末に対して1,258百万円増加し、12,190百万円となりました。

営業活動の結果得られた資金は59百万円（前年同四半期は1,440百万円の収入）となりました。この内訳の主なものは、その他の負債の減少731百万円、法人税等の支払額621百万円があるものの、税金等調整前四半期純利益1,029百万円、減価償却費及びその他の償却費627百万円によるものです。

投資活動の結果得られた資金は983百万円（前年同四半期は1,520百万円の収入）となりました。この内訳の主なものは、定期預金の純増減額による収入1,010百万円によるものです。

財務活動の結果得られた資金は244百万円（前年同四半期は448百万円の支出）となりました。この内訳の主なものは、配当金の支払額463百万円があるものの、短期借入金の純増減額による収入247百万円と長期借入れによる収入500百万円によるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月15日に公表しました通期業績予想につきまして、修正は行っておりません。

しかし、事業会社の業績推移や新規事業展開の進捗状況、および世界情勢の変化等により、修正が必要と判断した場合には速やかに開示する予定です。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

当社及び一部の国内連結子会社は、税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,642	14,892
受取手形及び売掛金	4,041	3,124
有価証券	865	866
商品及び製品	9,403	9,586
原材料及び貯蔵品	905	967
繰延税金資産	715	714
その他	1,124	1,449
貸倒引当金	△128	△123
流動資産合計	31,569	31,476
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,225	3,092
機械及び装置（純額）	14	12
工具、器具及び備品（純額）	1,208	1,173
土地	1,062	1,062
建設仮勘定	43	28
その他（純額）	92	55
有形固定資産合計	5,646	5,425
無形固定資産	1,690	1,668
投資その他の資産		
長期預金	2,000	2,000
敷金及び保証金	7,039	6,791
建設協力金	258	209
その他	5,594	5,638
貸倒引当金	△11	△11
投資その他の資産合計	14,881	14,628
固定資産合計	22,219	21,722
資産合計	53,788	53,198

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,852	1,811
短期借入金	1,664	1,910
未払金	2,563	2,071
未払法人税等	566	430
賞与引当金	98	70
店舗閉鎖損失引当金	19	26
その他	2,149	1,326
流動負債合計	8,915	7,647
固定負債		
長期借入金	4,000	4,500
役員退職慰労引当金	68	75
資産除去債務	352	348
その他	448	502
固定負債合計	4,869	5,426
負債合計	13,785	13,074
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,901	5,901
資本剰余金	6,829	6,829
利益剰余金	35,050	35,121
自己株式	△8,402	△8,402
株主資本合計	39,378	39,449
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	165	330
為替換算調整勘定	145	22
その他の包括利益累計額合計	311	352
新株予約権	—	1
少数株主持分	313	320
純資産合計	40,003	40,124
負債純資産合計	53,788	53,198

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	29,374	28,232
売上原価	9,595	8,900
売上総利益	19,779	19,332
販売費及び一般管理費	18,657	18,412
営業利益	1,122	920
営業外収益		
受取利息	22	16
受取賃貸料	11	9
為替差益	0	59
受取手数料	45	6
貯蔵品売却益	—	59
店舗閉鎖損失引当金戻入額	36	0
その他	67	54
営業外収益合計	182	205
営業外費用		
支払利息	20	22
支払手数料	13	18
その他	9	17
営業外費用合計	44	58
経常利益	1,260	1,067
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	154	44
特別利益合計	155	44
特別損失		
固定資産除売却損	22	36
関係会社出資金評価損	—	8
店舗解約損失金	9	8
投資有価証券評価損	0	—
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	29
特別損失合計	31	82
税金等調整前四半期純利益	1,383	1,029
法人税等	500	497
少数株主損益調整前四半期純利益	883	532
少数株主利益又は少数株主損失(△)	19	△2
四半期純利益	863	534



（四半期連結包括利益計算書）  
（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	883	532
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20	164
為替換算調整勘定	361	△113
その他の包括利益合計	381	51
四半期包括利益	1,264	583
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,236	576
少数株主に係る四半期包括利益	28	6

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,383	1,029
減価償却費及びその他の償却費	678	627
賞与引当金の増減額 (△は減少)	7	△28
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	6	7
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	△58	13
受取利息及び受取配当金	△23	△17
支払利息	20	22
為替差損益 (△は益)	41	△21
有形固定資産除売却損益 (△は益)	21	36
投資有価証券売却損益 (△は益)	△154	△44
投資有価証券評価損益 (△は益)	0	—
売上債権の増減額 (△は増加)	246	297
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△200	△238
その他の資産の増減額 (△は増加)	54	△280
仕入債務の増減額 (△は減少)	120	△7
その他の負債の増減額 (△は減少)	△480	△731
その他	21	7
小計	1,685	673
利息及び配当金の受取額	35	30
利息の支払額	△20	△22
法人税等の支払額	△260	△621
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,440	59
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額 (△は増加)	4,000	1,010
有形固定資産の取得による支出	△286	△273
投資有価証券の取得による支出	△5,143	△216
投資有価証券の売却による収入	3,154	857
敷金及び保証金の差入による支出	△72	△52
敷金及び保証金の回収による収入	351	277
建設協力金の回収による収入	53	47
その他	△537	△668
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,520	983
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	63	247
長期借入れによる収入	—	500
自己株式の純増減額 (△は増加)	△0	△0
配当金の支払額	△463	△463
その他	△48	△40
財務活動によるキャッシュ・フロー	△448	244
現金及び現金同等物に係る換算差額	94	△28
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,606	1,258
現金及び現金同等物の期首残高	9,642	10,932
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,249	12,190

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	25,619	3,755	29,374	—	29,374
セグメント間の内部 売上高又は振替高	111	94	205	△205	—
計	25,730	3,849	29,580	△205	29,374
セグメント利益又は損失 (△)	1,124	△0	1,123	△1	1,122

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△1百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	24,421	3,810	28,232	—	28,232
セグメント間の内部 売上高又は振替高	113	71	185	△185	—
計	24,534	3,882	28,417	△185	28,232
セグメント利益又は損失 (△)	958	△35	922	△2	920

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△2百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。